

富來隆先生の御冥福を祈って

西村 武人

昭和六十年刊行の『別府市誌』の七名の編纂委員の中に、県史編纂審議会委員の大分大学の富來先生と別府大学の中野幡能先生に市誌全編の構成と、ことに歴史部門の代表としての執筆などのご苦勞をお願いしました。

その当時、連絡や協議のため志手のお宅に幾度もお伺いしたことがあり、先生著作の『社会経済思想史』をいただき、後年出版の『豊国の歴史を彩る英雄たち』の構想などを述べられ、ことに熱く語られた天道線は印象深いものでした。

今日、この秋空に、

「大分の歴史は日本史の縮図であり、世界史の縮図である。」

と力説された先生のお姿を偲んでおります。

御冥福をお祈りいたします。